

自 令和5年4月 1日
至 令和6年3月31日

事業報告書

公益社団法人日本将棋連盟
会長 羽生善治

令和5年度 公益社団法人日本将棋連盟

事業報告

[自 令和5年4月1日～ 至 令和6年3月31日]

【定款抜粋】

第4条 本連盟は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 棋戦を主催し対局棋譜の提供及び棋戦の解説講評等を行い、将棋の普及啓発を推進する
- (2) 機関誌の定期発行・棋書の随時刊行により、将棋の普及発展を図る
- (3) 全国各地で講習会、大会を開催するとともに、支部等を設置して広域的に事業を展開する
- (4) 国際的な対局の開催や国際大会の支援を通じて、将棋文化を世界に発信する
- (5) セミナー・育成等の修練の場として将棋会館を設立し、一般への施設貸与にも供することにより広く棋道の発展を図る
- (6) 専門棋士を全国各地及び海外へ派遣し、将棋の拡大発展を図る
- (7) 各文化団体と連携を図り、日本固有の文化を継承発展させる活動に寄与する
- (8) 学校教育の場において将棋の普及啓発が図られるための活動を推進する
- (9) アマチュア段級位制度を通じて、将棋の普及啓発を図るため免状、認定状等を発行、交付する
- (10) その他本連盟の目的を達成するため必要な事業

定款 第4条 (1) 項に関する事業報告…1. 事業 (1) 棋戦事業

1. 竜王戦 (第36期 読売新聞社)

- (1) 現役棋士と女流棋士4名・奨励会三段1名・アマチュア4名の計179名が参加して、1～6組に分かれてトーナメント戦(ランキング戦)を行なった。
- (2) 各クラスからの優秀成績者11名による決勝トーナメントを行ない、伊藤匠七段が挑戦者となった。
- (3) 藤井聡太竜王と挑戦者伊藤匠七段との間で七番勝負が行われ、4連勝で藤井聡太竜王がタイトルを防衛した。
- (4) ライブでネット配信された対局があった。
＜七番勝負が行われた期間 10月～11月＞

2. 名人戦 (第81期 毎日新聞社・朝日新聞社)

- (1) A級・B級1組・B級2組・C級1組・C級2組に138名が参加し、藤井聡太竜王がA級の最高成績者となり、名人への挑戦者となった。
- (2) 渡辺明名人と挑戦者藤井聡太竜王との間で七番勝負が行われ、4勝1敗で藤井竜王がタイトルを奪取し、第81期名人となった。
- (3) ライブでネット配信された対局があった。
＜七番勝負が行われた期間 4月～6月＞

3. 伊藤園お～いお茶杯王位戦 (第64期 新聞三社連合)

- (1) シード者以外の現役棋士と女流棋士2名の計166名が参加して、トーナメント形式による予選を行なった。
- (2) シード者4名、予選通過者8名の計12名が紅白2組に分かれて総当たりのリーグ戦を行ない、紅白各組の最高成績者による挑戦者決定戦を行ない、佐々木大地七段が挑戦者となった。
- (3) 藤井聡太王位と佐々木大地七段との間で七番勝負が行われ、4勝1敗で藤井王位がタイトルを防衛した。
- (4) ライブでネット配信された対局があった。
＜七番勝負が行われた期間 7月～8月＞

4. 叡王戦 (第8期 不二家)

- (1) シード者以外の現役棋士計164名が参加して、トーナメント形式による段位別予選を行なった。
- (2) シード者4名と予選通過者12名の計16名による本戦トーナメント戦を行ない、菅井竜也八段が挑戦者となった。
- (3) 藤井聡太叡王と菅井竜也八段との間で五番勝負が行われ、3連1敗で藤井叡王がタイトルを防衛した。
- (4) ライブでネット配信された対局があった。
＜五番勝負が行われた期間 4月～5月＞

5. 王座戦 (第71期 日本経済新聞社)

- (1) シード者以外の現役棋士と女流棋士4名の計166名が参加して、トーナメント形式による一次予選・二次予選を行なった。
- (2) シード者6名と予選通過者10名の計16名による挑戦者決定トーナメント戦を行ない藤井聡太竜王・名人が挑戦者となった。
- (3) 永瀬拓矢王座と藤井聡太竜王・名人との間で五番勝負が行われ、3勝1敗で藤井竜王・名人がタイトルを奪取した。
- (4) ライブでネット配信された対局があった。

＜五番勝負が行われた期間 9月～10月＞

6. 棋王戦コナミグループ杯（第49期 共同通信社）

- (1) シード者以外の現役棋士と女流棋士1名・アマチュア1名の計148名が参加して、トーナメント形式による予選を行なった。
- (2) シード者24名と予選通過者8名の計32名による挑戦者決定トーナメントを行ない、伊藤匠七段が挑戦者となった。（敗者復活戦を併用）。
- (3) 藤井聡太棋王と伊藤匠七段との間で五番勝負が行われ、3勝1持将棋で藤井聡太棋王がタイトルを防衛した。
- (4) ライブでネット配信された対局があった。

＜五番勝負が行われた期間 2月～3月＞

7. ALSOK 杯王将戦（第73期 毎日新聞社・スポーツニッポン新聞社）

- (1) シード者以外の現役棋士166名が参加して、トーナメント形式による一次予選・二次予選を行なった。
- (2) シード者4名、予選通過者3名の計7名で総当たりのリーグ戦を行ない、最高成績者の菅井竜也八段が挑戦者となった。
- (3) 藤井聡太王将と菅井竜也八段との間で七番勝負が行われ、4連勝で藤井王将がタイトルを防衛した。
- (4) ライブでネット配信された対局があった。

＜七番勝負が行われた期間 1月～2月＞

8. ヒューリック杯棋聖戦（第94期 産経新聞社）

- (1) シード者以外の現役棋士と女流棋士2名の計166名が参加して、トーナメント形式による一次予選・二次予選を行なった。
- (2) シード者4名、予選通過者12名の計16名で決勝トーナメントを行ない、佐々木大地七段が挑戦者となった。
- (3) 藤井聡太棋聖と佐々木大地七段との間で五番勝負が行われ、3勝1敗で藤井棋聖がタイトルを防衛した。
- (4) ライブでネット配信された対局があった。

＜五番勝負が行われた期間 6月～7月＞

9. 朝日杯将棋オープン戦（第17回 朝日新聞社）

- (1) シード者以外の現役棋士と女流棋士3名、アマチュア10名の計176名が参加して、トーナメント形式による一次予選、二次予選を行なった。
- (2) シード者8名と予選通過者8名の計16名による本戦トーナメントを行ない、決勝戦は永瀬拓矢九段が藤井聡太竜王・名人を破り、優勝した。準決勝・決勝戦は公開にて対局が行われ、ライブでネット配信も行われた。

＜準決勝・決勝戦は2月＞

10. 銀河戦（第31期 囲碁将棋チャンネル）

- (1) シード者以外の現役棋士計134名が参加して、予選を行なった。
- (2) シード者35名と予選通過者57名、女流4名の計96名をA～Hの8組に分け、勝ち抜き方式による本戦トーナメントを行なった。
- (3) 各組の最終勝ち上がり者と最多連勝者の計16名により、決勝トーナメントを行ない、決勝は丸山忠久九段が藤井聡太竜王・名人を破り、優勝した。

＜決勝戦の放映は12月＞

11. NHK杯将棋トーナメント（第73回 日本放送協会）

- (1) シード者以外の現役棋士計140名が参加して、トーナメント形式による予選を行なっ

- た。
- (2) シード者31名と予選通過者18名と女流棋士出場者決定戦通過者1名による計50名で本戦トーナメントを行ない、決勝戦は佐々木勇気八段が藤井聡太竜王・名人を破り、優勝した。
＜決勝戦の放映は3月＞
12. 将棋日本シリーズJTプロ公式戦2023（第44回 地方新聞社11社、協賛：日本たばこ産業株式会社）
- (1) 前回優勝者と選抜棋士11名の計12名でトーナメントを行ない、決勝戦は藤井聡太竜王・名人が糸谷哲郎八段を破り、優勝した。本棋戦では、全11対局を全国の都市で行ない、公開（無料）にて対局を行なった。併せてテーブルマークこども大会を全会場で行なった。
- (2) 全11対局は、ライブでネット配信された。
＜決勝戦は11月＞
13. 達人戦立川立飛杯（第1回 特別協賛：立飛ホールディングス）
- (1) 50歳以上（2023年4月1日現在）の現役棋士によりトーナメント形式による予選（参加50名）を行なった。
- (2) シード者4名と予選通過者4名の計8名で本戦を行い、決勝戦は羽生善治九段が丸山忠久九段を破り、優勝した。
- (3) 本戦は公開にて対局が行われ、ライブでネット配信も行われた。
＜決勝戦は11月＞
14. 新人王戦（第54期 しんぶん赤旗）
- (1) 26歳以下（2022年10月1日現在）かつ六段以下（タイトル戦出場経験者を除く）の現役棋士16名、女流棋士4名、奨励会三段19名、アマチュア1名（赤旗名人戦優勝者）の合計40名によるトーナメントを行なった。
- (2) 決勝三番勝負は上野裕寿四段が藤本渚四段を2勝1敗で破り、優勝した。
＜三番勝負が行われた期間 10月＞
15. 加古川清流戦（第13期 加古川市、公益財団法人加古川市ウェルネス協会）
- (1) 四段棋士と選抜奨励会三段、女流棋士2名、アマチュア3名の計40名でトーナメント戦を行なった。
- (2) 決勝三番勝負は加古川市内で行われ、藤本渚四段が吉池隆真三段を2連勝で破り、優勝した。
＜三番勝負が行われた期間 11月＞
16. ABEMA トーナメント（2023 ABEMA）
- (1) タイトル保持者・A級棋士ら上位棋士14名がドラフトで2名の棋士を選び、3人1チームを編成した。
- (2) その他、エントリートーナメントを行ない、勝ち上がった3名の棋士がチームを組み、全15チームで予選・決勝トーナメントを実施し、チーム永瀬（永瀬九段・増田八段・本田六段）が優勝した。
- (3) ライブでネット配信された対局があった。
＜決勝戦の放映は9月＞
17. SUNTORY 将棋オールスター東西対抗戦（2023 サントリー食品インターナショナル）
- (1) 東軍・西軍に分かれて、ファン投票により各3名を選出した。
- (2) その他、予選（エントリー方式）を実施し、東西各3名を選出した。
- (3) ファン投票と予選により選出した東軍・西軍各6名のチーム編成により、公開で東西対

抗戦を実施し、西軍が勝利した（準公式戦）。

(4) ライブでネット配信された対局があった。

＜決勝戦は12月＞

18. ヒューリック杯白玲戦（第3期 ヒューリック）

(1) 第2期女流順位戦の成績により、A級・B級・C級・D級の4クラスに分かれてリーグ戦を行なった。

(2) 里見香奈白玲と第2期女流順位戦A級で最高成績を収めた西山朋佳女流三冠との間で七番勝負が行なれ、西山女流三冠が4勝3敗でタイトルを獲得した。

(3) 七番勝負はリアルタイム中継を行なった。

＜七番勝負が行われた期間 9月～10月＞

19. 大成建設杯清麗戦（第5期 大成建設）

(1) 女流棋士69名による予選（2敗失格方式）を行なった。

(2) 予選勝ち抜いた4名による本戦トーナメントを行ない、西山朋佳女流三冠が挑戦者となった。

(3) 里見香奈清麗と西山朋佳女流三冠との間で五番勝負が行われ、3勝1敗で里見清麗がタイトルを防衛した。

(4) 五番勝負はリアルタイムで中継を行なった。

＜五番勝負が行われた期間 7月～8月＞

20. マイナビ女子オープン（第17期 マイナビ）

(1) 前期中戦進出者、予選シード者および予備予選を通過した女流棋士とチャレンジマッチ（アマチュア予選）を通過した計52名で予選を行なった。

(2) シード者3名と予選通過者13名の計16名による本戦トーナメントを行ない、大島綾華女流初段が挑戦者となった。なお、大島女流初段は本棋戦でのタイトル挑戦により女流二段に昇段した。

(3) 西山朋佳女王と大島綾華女流二段による五番勝負は2024年4月に開幕し、現在両者による第17期女王のタイトルが争われている。

＜五番勝負が行われる期間 4月～6月＞

21. リコー杯女流王座戦（第13期 リコー）

(1) シード者を除くエントリー女流棋士と東日本・西日本アマチュア選抜予選を勝ち上がったアマチュア6名の計72名が参加して、トーナメント形式による一次予選・二次予選を行なった。なお、今期も新型コロナウイルス感染防止のため、海外選手の招待を見送った。

(2) シード者3名と予選通過者13名の計16名による本戦トーナメントを行ない、加藤桃子女流四段が挑戦者となった。

(3) 里見香奈女流王座と加藤桃子女流四段との間で五番勝負が行われ、3勝1敗で里見女流王座がタイトルを防衛した。

(4) ネット配信を行なった対局があった。

＜五番勝負が行われた期間 10月～12月＞

22. 岡田美術館杯女流名人戦（第50期 報知新聞社）

(1) シード者以外の女流棋士66名が参加して、トーナメント形式の予選を行なった。

(2) シード者6名、予選通過者4名の計10名で女流名人リーグを行ない、最高成績者の里見女流四冠が挑戦者となった。なお、里見女流四冠は2024年1月1日付で対局者名を「福間香奈」とした。

(3) 西山朋佳女流名人と福間香奈女流四冠との間で五番勝負が行われ、3勝1敗で福間女流

四冠がタイトルを獲得した。

(4) ネット配信を行なった対局があった。

＜五番勝負が行われた期間 1月～2月＞

23. 女流王位戦（第34期 新聞三社連合）

(1) シード者以外の女流棋士62名が参加して、トーナメント形式の予選を行なった。

(2) シード者6名、予選通過者6名の計12名が紅白2組に分かれて総当たりのリーグ戦を行ない、紅白各組の最高成績者による挑戦者決定戦を行ない、伊藤沙恵女流三段が挑戦者となった。

(3) 里見香奈女流王位と伊藤沙恵女流三段との間で五番勝負が行われ、3勝1敗で里見女流王位がタイトルを防衛した。

(4) ネット配信を行なった対局があった。

＜五番勝負が行われた期間 4月～6月＞

24. 霧島酒造杯女流王将戦（第45期 囲碁将棋チャンネル）

(1) シード者以外の女流棋士66名とアマチュア5名の計71名が参加して、トーナメント形式の予選を行なった。

(2) シード者4名と予選通過者12名の計16名で本戦トーナメントを行ない、香川愛生女流四段が挑戦者となった。

(3) 西山朋佳女流王将と香川愛生女流四段との間で三番勝負が行われ、2連勝で西山女流王将がタイトルを防衛した。

(4) (2)(3)はテレビ放映された。

＜三番勝負が行われた期間 10月＞

25. 大山名人杯倉敷藤花戦（第31期 倉敷市・倉敷市文化振興財団・山陽新聞社）

(1) 女流棋士全員70名とアマチュア2名の計72名が参加して、トーナメントを行ない、西山朋佳女流四冠が挑戦者となった。

(2) 里見香奈倉敷藤花と西山朋佳女流四冠との間で三番勝負が行われ、2連勝で里見倉敷藤花がタイトルを防衛した。

(3) ネット配信を行なった対局があった。

＜三番勝負が行われた期間 11月＞

26. YAMADA 女流チャレンジ杯（第8回 ヤマダホールディングス）

(1) 女流二段以下かつ女流棋士となって15年以下（タイトル戦出場経験者を除く）の女流棋士計35名とアマチュア1名の計36名でトーナメント戦を行ない、決勝戦は磯谷祐維女流初段が野原未蘭女流初段を破り、優勝した。決勝戦は公開にて対局が行われた。

＜決勝は1月＞

定款 第4条（2）項に関する事業報告…収1 物品販売、出版、付帯収益事業

1. 月刊「将棋世界」

A5判、244頁、付録1冊、定価870円、毎月3日発売

販売：株式会社マイナビ出版

⇒予定通り、刊行した。（但し、定価は12月号から920円に改定）

2. 「令和5年版将棋年鑑」

B5判、626頁、定価（本体4,600円+税）、8月上旬発売、直販品

⇒予定通り、刊行した。（但し、680頁、定価 本体4,800円+税）

3. 書籍

「棋士エッセイ集 将棋指しがひと息ついて」将棋書籍 編

新書判、224頁、定価（本体850円＋税）
⇒予定通り、刊行した。（但し、264頁）

他随時刊行、発売

以上、将棋普及を目的とした出版物を刊行した。

定款 第4条（1）項、（4）項、（6）項に関する普及事業報告
…1. 事業（3）普及啓発事業（5）、7）

1. 令和5年度社会福祉活動支援報告①

支援対象大会名 第36回全国障害者将棋大会
実施時期 令和5年10月予定
会 場 東京都内

⇒事情により、実施されなかった。

2. 令和5年度社会福祉活動支援報告②

支援対象大会名 第45回全国視覚障害者将棋大会
実施時期 令和5年11月18日（土）・19日（日）
会 場 東京都新宿区 日本視覚障害者センター
出場資格 日本視覚障害者団体連合組織団体の会員であること
審判長 日本将棋連盟 棋士 竹内雄悟五段
参加費 2,000円
表彰 A級（有段者）、B級（級位以下）それぞれの優勝者に厚生労働大臣杯、
A級優勝者に NHK 会長賞、各級3位までの入賞者に日本将棋連盟会
長・日盲連会長賞が授与された。また、A級優勝者には四段、B級優勝
者には初段が日本将棋連盟より授与された。
主 催 社会福祉法人日本視覚障害者団体連合
後 援 厚生労働省・日本放送協会・日本将棋連盟
大会事務局 社会福祉法人日本視覚障害者団体
支援内容 免状寄贈・後援名義使用・審判長／運営要員人選補佐

3. 日本文化紹介事業「海外棋士派遣事業」

派遣先 フランス・ストラスブール
日 程 令和5年7月27日（木）～30日（日）
派遣者 日本将棋連盟 棋士 石川陽生七段

4. 日中友好文化交流事業「海外棋士派遣事業」

事業名 第6回日中友好杏林堂杯青少年将棋大会
日 程 令和5年7月29日（土）・30日（日）
会 場 中国上海市 ウイーンインターナショナルホテル
派遣者 日本将棋連盟 棋士 青野照市九段・所司和晴七段
内 容 中国、香港、台湾、日本を対象地域として、小学生から大学生までの青少年の将
棋大会を開催。あわせて派遣棋士による指導対局、講習を行なった。
主 催 日本将棋連盟上海支部
共 催 日本将棋連盟
後 援 在上海日本国総領事館
協 賛 株式会社杏林堂薬局

定款 第4条(3)項、(6)項、(8)項に関する普及啓発報告

…1. 事業(3)普及啓発事業(3)、5)

1. 親子ふれあい将棋広場 7月22日(土) 更生保護会館
⇒実施した
2. 将棋指導員審査 4月 8地区(愛知・宮城・大阪・東京・京都・兵庫・
広島・福岡)
⇒実施した。
3. 第55期女流アマ名人戦 9月17日(日) プラザマーム(東京都中央区)
⇒実施した。
4. 第49回「将棋の日」 11月11日(土)・12日(日) 日立システムズホール仙台
(宮城県仙台市)
⇒実施した。
5. 学校へ将棋指導者派遣事業 4月～3月
⇒実施した。
6. 文部科学大臣杯第19回小・中学校将棋団体戦 8月9日(水) サンケイプラザ
⇒実施した。
7. オリンピック・パラリンピック教育推進校に対する将棋を用いた「日本の伝統的な礼儀・
作法やおもてなしの学習」授業の提案活動
⇒閉幕により終了。

定款 第4条(3)項、(6)項、(10)項に関する事業報告

…1. 事業(3)普及啓発事業(8)、10)

1. 将棋道場事業
将棋会館(東京)、関西将棋会館(大阪)にて将棋道場営業。
入場者同士の対局による棋力認定や、専門棋士による指導対局を行なった。
2. 北海道将棋道場事業
北海道将棋会館(札幌市)にて将棋道場営業。
北海道支部連合会へ運営を依頼。
入場者同士の対局による棋力認定や、専門棋士による指導対局を行なった。

定款 第4条(4)項に関する国際大会支援事業報告

…1. 事業(3)普及啓発事業(5)

1. 第9回国際将棋フォーラム開催
2024年11月開催に向けた準備
⇒以上、行なった。
2. 創立100周年の開催に合わせて国際普及を目的とした事業の開発
⇒以上、行なった。

定款 第4条(5)項に関する事業報告…1. 事業(3)普及啓発事業(8)、10)

1. 東京将棋会館 教室講習

◇子供将棋スクール 毎週 日曜日 月4回 初心者から1級まで、小学生
東京将棋会館ではなく、渋谷校にて

◇土曜子供入門教室 毎週 土曜日 月4回 初心者から5級まで、小学生

◇師範棋士制度 毎日（土日祝、年末年始を除く）

◇女流棋士レッスン 毎週 月曜日と水曜日の午前中（年末年始除く）

⇒上記教室講習を実施した。

◇タイトル戦・主要対局の大盤解説会

⇒実施した。

◇子供大会等、各種将棋企画

⇒実施した。

◇年末年始 将棋大会

⇒実施した。

2. 関西将棋会館 教室講習

◇ビギナーズセミナー 土曜日 月2回不定期 一般向け、級位者

⇒実施した。

◇日曜こども将棋スクール 毎週 日曜日 月4回 小・中学生向け、級位者

⇒実施した。

◇土曜こども将棋スクール 毎週 土曜日 月4回 小・中学生向け、初級・中級・
上級クラス

⇒実施した。

◇レディースセミナー 毎週 月曜日 月4回 女性(一般)向け、初級・中級クラス

⇒実施した。

◇夏休み（7～8月）子供大会

⇒実施した。

◇年末年始 将棋大会

⇒実施した。

◇棋士・女流棋士による指導対局（土・日・祝）

⇒実施した。

◇関西将棋会館分校 高槻校 毎週 日曜日 月4回 小・中学生向け、級位者

⇒実施した。

3. 東・西将棋会館で棋具備品の貸し出し

⇒随時、行なった。

定款 第4条（6）項、（10）項に関する事業報告

…1. 事業（3）普及啓発事業（2）、8）

1. 下記子供将棋スクール 教室講習

◇子供将棋スクール渋谷校 毎週日曜日 小学生

◇子供将棋スクール町田校 毎週日曜日 小学生

◇子供将棋スクール川口校 毎月第2・4日曜日 小学生

◇子供将棋スクール横浜校 毎月第2・4日曜日 小学生

⇒上記教室講習を実施した。

2. ヤマダこども将棋教室

◇全国のヤマダ電機21店舗で開催する予定であったが、17店舗で。

講師は棋士及び将棋指導員、支部役員・会員、将棋指導員補佐
対象は初心～5級、中学生以下
⇒実施した。

定款 第4条（8）項に関する事業報告…収1 物品販売、出版、付帯収益事業

将棋関連商品事業

- ◇将棋盤・駒 高級品・普及品 随時販売した。
- ◇扇子 名人戦記念 6月発売した。
- 名人位 8月発売した。
- 竜王戦記念 1月発売した。
- 竜王位 竜王位の異動がなかったため、前期の扇子を
継続販売した。
- タイトル保持者・棋士・女流棋士 随時発売した。
- ◇カレンダー・将棋手帳 11月発売した。
- ◇将棋関連書籍・雑誌 随時発売した。
- ◇他グッズ（置き駒、将棋タオル、大盤セット等） 随時販売した。
- ◇新商品の開発を行なった。

定款 第4条（9）項に関する事業報告

1. 将棋免状認定

- ◇専門棋士指導による棋力認定
 - ◇棋道正師範・棋道師範・棋道指導員・将棋指導員による棋力認定
 - ◇専門誌紙上検定による棋力認定
 - ◇新聞・雑誌の紙上検定による棋力認定
 - ◇インターネットによる棋力認定
 - ◇テレビによる棋力認定
 - ◇記念認定
 - ◇将棋会館道場認定
 - ◇支部会員認定
- ⇒以上、行なった。

定款 第4条（10）項に関する事業報告…1. 事業（3）普及啓発事業（9）、11）

1. 広報活動

- ◇各報道関係者・出版機関に将棋文化の宣伝を行なった。
- ◇会員・棋戦・イベント等の将棋に関する情報を発信した。
- ◇全国各地の公共機関・施設や企業より依頼された将棋イベントや講演等の協力を行なった。
- ◇テレビ・ラジオ番組・映画・WEB（将棋関係）へ資料を提供し、専門棋士の出演や協力、
制作の協力を行なった。
- ◇各マスメディアからの取材等の協力を行なった。
- ◇出版社の書籍編集に協力した。ゲームの商品化については新規に提案がなかったため、行
なわなかった。
- ◇将棋対局における記録など資料整備を行なった。
- ◇ホームページ上により将棋の情報を一般の方々に公開した。

- ◇対局を写真撮影してマスコミに貸出を行なった。
- ◇棋士・女流棋士を起用する広告案件と対応と企画を行なった。

2. 電子メディア事業

- ◇日本将棋連盟公式サイト <https://www.shogi.or.jp/>にて将棋関連の情報を配信し、国内・海外への普及振興に努めた。
- ◇モバイルでの棋戦中継事業を実施した。
- ◇インターネット対局サイト「将棋倶楽部24」の運営に協力した。
- ◇社内ネットワークの運用を行なった。
- ◇PC、デジタル機器の資産管理と整備を行なった。
- ◇テレワーク環境の整備と推進を行なった。
- ◇情報資産を ICT ツールを用いて管理し、社内共有を推進した。
- ◇動画配信サイト、SNS を活用し、将棋の魅力を伝えた。

3. 普及推進事業

- ◇将棋文化振興支援団体（地方自治体代表者）を集めての交流会を行なった。
日程：令和5年10月28日（土）
会場：大阪府高槻市 「高槻城公園芸術文化劇場 南館 トリシマホール」
- ◇将棋に関する正しい知識の浸透とそれを有するファンの適切な評価を目的として将棋文化検定を行なう。
⇒2月10日（土）、代替事業として将棋の歴史に関する講座、将棋文化に関するクイズ大会を実施した。
- ◇渋谷区との「伝統文化の発展及び地域の魅力向上のための相互協力協定」に基づき、渋谷区「西参道プロジェクト」に参画する。
⇒令和5年6月10日（土）「駒テラス西参道」施設をオープンした。

4. ライセンス事業

- 日本将棋連盟の公認を付与し、将棋の普及につなげた。

理事会・社員総会等に関する事項

	開催年月日	議事事項
常務会	2023年4月3日	業務の管理、運営に関して
常務会	2023年4月13日	業務の管理、運営に関して
常務会	2023年4月20日	業務の管理、運営に関して
常務会	2023年4月28日	業務の管理、運営に関して
常務会	2023年5月11日	業務の管理、運営に関して
常務会	2023年5月18日	業務の管理、運営に関して
理事会	2023年5月18日	議案 第1号議案 令和4年度決算書類承認の件 第2号議案 令和4年度事業報告承認の件 第3号議案 第74回通常総会開催の件 ① 日時：令和5年6月9日 13時～ ② 場所：SYDホール 第4号議案 第74回通常総会議長・副議長選出

		<p>の件</p> <p>① 議長：野月浩貴八段、 副議長：糸谷哲郎八段</p> <p>第5号議案 第74回通常総会議案の件</p> <p>① 令和4年度決算書類承認の件</p> <p>② 令和4年度事業報告承認の件</p> <p>③ 理事（15名）・監事（2名）選任の件</p> <p>報告</p>
常務会	2023年5月26日	業務の管理、運営に関して
定例報告会 (リモートによる)	2023年5月26日	正会員への報告及び質疑応答
常務会	2023年6月8日	業務の管理、運営に関して
第74回通常総会	2023年6月9日	<p>議案</p> <p>第1号議案 令和4年度事業報告承認の件</p> <p>第2号議案 令和4年度決算書類承認の件</p> <p>第3号議案 理事選任・清水市代の件</p> <p>第4号議案 理事選任・森下卓の件</p> <p>第5号議案 理事選任・西尾明の件</p> <p>第6号議案 理事選任・片上大輔の件</p> <p>第7号議案 理事選任・羽生善治の件</p> <p>第8号議案 理事選任・脇謙二の件</p> <p>第9号議案 理事選任・井上慶太の件</p> <p>第10号議案 理事選任・森詳介の件</p> <p>第11号議案 理事選任・岡野貞彦の件</p> <p>第12号議案 理事選任・佐竹康峰の件</p> <p>第13号議案 理事選任・遠藤龍之介の件</p> <p>第14号議案 理事選任・松本大の件</p> <p>第15号議案 理事選任・杉本昌隆の件</p> <p>第16号議案 理事選任・行方尚史の件</p> <p>第17号議案 理事選任・斎田晴子の件</p> <p>第18号議案 監事選任・松岡幸秀の件</p> <p>第19号議案 監事選任・佐藤義則の件</p>
理事会	2023年6月9日	<p>議案</p> <p>第1号議案 代表理事（会長）選定の件</p> <p>第2号議案 業務執行理事（専務理事・常務理事）選定の件</p> <p>第3号議案 創立100周年事業・東西将棋会館建設委員会の件</p> <p>報告</p>
常務会	2023年6月19日	業務の管理、運営に関して
常務会	2023年6月29日	業務の管理、運営に関して

常務会	2023年7月4日	業務の管理、運営に関して
常務会	2023年7月20日	業務の管理、運営に関して
常務会	2023年7月28日	業務の管理、運営に関して
定例報告会 (リモートによる)	2023年7月28日	正会員への報告及び質疑応答
常務会	2023年8月7日	業務の管理、運営に関して
常務会	2023年8月24日	業務の管理、運営に関して
常務会	2023年8月30日	業務の管理、運営に関して
常務会	2023年9月8日	業務の管理、運営に関して
常務会	2023年9月14日	業務の管理、運営に関して
常務会	2023年9月21日	業務の管理、運営に関して
理事会	2023年9月21日	議案・審議事項なし 報告
常務会	2023年10月2日	業務の管理、運営に関して
定例報告会 (リモートによる)	2023年10月2日	正会員への報告及び質疑応答
常務会	2023年10月12日	業務の管理、運営に関して
常務会	2023年10月27日	業務の管理、運営に関して
常務会	2023年11月8日	業務の管理、運営に関して
常務会	2023年11月21日	業務の管理、運営に関して
常務会	2023年11月28日	業務の管理、運営に関して
定例報告会 (リモートによる)	2023年11月28日	正会員への報告及び質疑応答
常務会	2023年12月11日	業務の管理、運営に関して
理事会	2023年12月11日	議案 第1号議案 令和5年度中間決算承認の件 第2号議案 千駄ヶ谷センタービル店舗② (30.49坪) 購入の件 報告
常務会	2023年12月20日	業務の管理、運営に関して
常務会	2023年12月26日	業務の管理、運営に関して
常務会	2024年1月12日	業務の管理、運営に関して
常務会	2024年1月25日	業務の管理、運営に関して
常務会	2024年2月1日	業務の管理、運営に関して
定例報告会 (リモートによる)	2024年2月1日	正会員への報告及び質疑応答
常務会	2024年2月9日	業務の管理、運営に関して

常務会	2024年2月16日	業務の管理、運営に関して
常務会	2024年2月22日	業務の管理、運営に関して
常務会	2024年3月1日	業務の管理、運営に関して
常務会	2024年3月8日	業務の管理、運営に関して
常務会	2024年3月19日	業務の管理、運営に関して
理事会	2024年3月19日	<p>議案</p> <p>第1号議案 令和6年度臨時総会開催の件 ① 日時：令和6年4月5日（金） 午後1時～ ② 場所：日本青年館ホテル （東京都新宿区） 関西将棋会館 （大阪市福島区）</p> <p>第2号議案 令和6年度臨時総会議長・副議長 選出の件 ① 議長：野月浩貴八段 ② 副議長：糸谷哲郎八段</p> <p>第3号議案 令和6年度臨時総会議案の件 ① （仮称）千駄ヶ谷センタービル 建替計画店舗区画（30.49坪） 購入の件 ② 資金調達の件</p> <p>第4号議案 （仮称）千駄ヶ谷センタービル 建替計画店舗区画（91.04坪） 賃貸借契約変更の件</p> <p>第5号議案 令和6年度事業計画書、収支予算 書、資金調達及び設備投資の見込 みを記載した書類承認の件</p>
常務会	2024年3月28日	業務の管理、運営に関して